

# あつぎ市議会だより

第233号 発行日/平成28年11月15日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

## 9月定例会議

# 平成27年度決算7件を認定

## 暴力団追放・組事務所排除に関する決議を可決 義務教育費国庫負担存続などを求める意見書を提出

9月定例会議は、8月30日から10月5日までの会議期間37日間で開かれました。

市長から初日に提出された議案は、教育委員会委員の任命や農業委員会委員の任命のほか、平成27年度一般会計など7会計の歳入歳出決算、条例の改正、工事請負契約の締結、市道路線の廃止、認定、一般会計補正予算、公共用地取得事業特別会計補正予算、公共下水道事業特別会計補正予算の35議案です。このうち、「教育委員会委員の任命について(2件)」「農業委員会委員の任命について(13件)」を除いた20議案は質疑終了後、上程された請願および陳情とともに所管の常任委員会に付託されました。

本会議第2日から第4日までの3日間、議員18

人が登壇し、一般質問が行われました。

また、休会中に各常任委員会が開かれ、付託された議案や請願・陳情に対し、慎重な審査が行われました。

最終日、「教育委員会委員の任命について(2件)」「農業委員会委員の任命について(13件)」に対する質疑が行われ、採決の結果、同意しました。その後、各常任委員長から審査結果の報告、4会派などによる討論が行われ、採決の結果、委員会に付託された全議案を認定・可決しました。

さらに、市長から「監査委員の選任について」の議案1件、議員から「暴力団追放・暴力団組事務所排除の推進に関する決議」など議案2件が追加提出され、同意・可決しました。



市民が文化芸術活動に触れる機会と発表の場をつくることを目的に毎年開催されている「野外彫刻造形展」

### 平成27年度決算

認定した決算議案は7件です。

決算議案は、所管の常任委員会に分割付託し、平成27年度の事業執行について、質疑を行ったほか、今後の行財政運営に関し、執行機関に要望を行いました。(各常任委員会からの要望は8面参照。)

### 条例の改正

可決した条例の一部改正議案は4件です。

「厚木市立総合福祉センター条例」の主な改正内容は、総合福祉センターに保健センター機能を統合することに伴い、当該施設の名称を改めるほか、所要の措置を講ずるため、改正するものです。

「厚木市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例」の主な改正内容は、本厚木駅南口地区地区計画および森の里東地区地区計画の都市計画決定に伴い、当該地区の建築物に関する制限を追加するほか、所要の措置を講ずるため、改正するものです。

### 工事請負契約

可決した工事請負契約の締結議案は1件です。

◇契約の目的 市道赤坂竹ノ内線橋りょう上部工事

◇契約金額 2億7756万円

◇契約の相手方 株式会社 社入江土木

### 市道の廃止・認定

可決した市道路線の廃止・認定議案は5件です。

内容は、道路新設改良事業に伴い、下荻野地内

の3路線を廃止し、新たに3路線を認定するほか、三田地内における都市計画道路路間荻野線の新設による三田小学校グラウンドの移設に伴い、2路線を廃止し新たに2路線を認定するものです。このほか、宅地分譲のための開発行為に伴い、関口地内の1路線を廃止し、新たに1路線を認定するほか、林三丁目地内や下荻野地内にそれぞれ1路線を新たに認定するものです。

### 教育委員の任命に同意

教育委員会委員4人のうち、2人の任期が満了することに伴い、市長から後任委員の任命について、同意を求める議案が提出され、次の方々の任命に賛成全員で同意しました。なお、山田氏の任期については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の規定により、委員の任期満了日が特定の年に偏ることのないよう、3年間とするものです。

### 農業委員の任命に同意

農業委員会委員の任期が満了することに伴い、市長から後任委員の任命について、同意を求める議案が提出され、次の

方々の任命に賛成全員で同意しました。

- ◎市川 和典氏(飯山)
- ◎井上 謙治氏(上依知)
- ◎白井スミ子氏(飯山)
- ◎木原 淳子氏(温水)
- ◎小塩 仁氏(戸田)
- ◎飛川 雄治氏(棚沢)
- ◎難波 博文氏(下荻野)
- ◎野口 政夫氏(下荻野)
- ◎早川 曉氏(愛甲東)
- ◎堀池 春夫氏(岡田)
- ◎松前 進氏(飯山)
- ◎三橋 澄夫氏(小野)
- ◎山川 宏司氏(飯山)

### 監査委員に石井芳隆氏

議員の中から選出する監査委員が辞職することに伴い、後任委員として石井芳隆議員(新政あつぎ)を選任したいとの議案が最終日に市長から提出され、賛成全員で同意しました。



石井監査委員

2面下段に続く

### 主な内容

- ◆一般質問 2～6面
- ◆国に提出した意見書 5面
- ◆委員会の審査 7・8面
- ◆常任委員などの一覧 9面
- ◆本会議の審議結果 10面





今定例会議では、18人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えをたどしました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

### 震災時の避難場所の指定状況は

あつぎみらい 高橋 豊議員



問 愛甲小学校や東名中学校は、浸水被害、液化被害の発生が危惧される地域にあるが、見直しや新たに避難場所を確保する考えはあるか。

答 危機管理部長 1

50年に一度の浸水想定が0.5メートル未満であり、学校施設は耐震基準を大きく満たしていることなどから指定した。さらに、指定緊急避難場所は、浸水被害が生じないと思われる愛甲原児童館や船子老人憩の家などを指定している。新たな避難場所などの確保については、民間施設や企業などの協定に基づく設置を検討していきたい。

### ●買い物困難地域

問 スーパーマーケット トなどが撤退した後の地域の課題と対策は。

答 産業振興部長 例

として王子地区の文郷山団地における木曜マーケットのほか、移動販売

### 生ごみ処理機の効果と普及の考えは

民進党 望月 真実議員



問 ごみは、発生の抑制と減量化・資源化をセットにして考えなければならぬ。生ごみ処理機の普及の考えは。

答 市長 実証実験を行って、効果を検証し普及について検討する。

答 環境農政部長 燃

えるごみの約45%が生ごみである。生ごみ処理機が広く普及し生ごみを削

### 民間活用による公共施設整備の検討状況は

公明党 田上 祥子議員



問 内閣府の民間資金等活用事業推進会議が策定した「多様なPPP/PFI手法導入を優先的に検討するための指針」に基づき、優先的検討規程を定め、優先検討を行うことが求められるが、取り組みの状況は。

答 政策部長 中学校給食を賄う学校給食センターの整備が10億円を超える規模になると想定し

の取り組みもある。地域によって実情がいろいろあるため、対応策については相談していきたい。

### ●創業支援

問 具体的な取り組みは。

答 産業振興部長 産

業競争力強化法に基づく認定を受けたことで、あ

### ●学校給食などの資源化

問 新中学校給食センターや畑がある小学校に、生ごみ処理機を導入する考えはあるか。

答 教育総務部長 策

定中の新中学校給食センターの整備計画で、生ごみ処理機などによる資源化を検討している。また、

答 市長 全ての新生児を対象に検査ができるよう、医療機関との連携体制の構築や、より一層の普及啓発を図っていく。

### ●交差点改良事業

問 林交差点は変則的で、大変危険な交差点に挙げられているが、今後の見通しは。

答 道路部長 朝晩の交通が集中する時間に交通混雑が発生している。道路用地を確保することが難しい状況にあるため、今年度、警察が信号の調整をされると聞いており、今後、信号による調整をした後の交通の流れなどを検証し、さらに交差点の検討をしていきたい。

### ●新生児健診検査

問 本市で生まれる全ての子どもに実施できる体制を整えられないか。

答 市長 全ての新生児を対象に検査ができるよう、医療機関との連携体制の構築や、より一層の普及啓発を図っていく。

今年度、農園のある学校への設置を進めている。の中止が学校から伝えられた。子どもや保護者の意見を聞き、種目を選別してもよいのではないか。

### ●運動会の今後の方向性

問 組み体操や騎馬戦の中止が学校から伝えられた。子どもや保護者の意見を聞き、種目を選別してもよいのではないか。

答 学校教育部長 児童のアイデアを取り入れてもよいと思うが、運動会は教育課程に位置付けられた体育的行事のため、教員が主体となつて種目の内容、構成を検討することになっている。



### 1面から続く 補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計と2つの特別会計の3件です。

一般会計補正の主な歳出の内容は、ふるさと納税を活用したあつぎ元気応援寄付金制度のリニューアルに伴い、財政調整基金積立金ふるさと納税分およびふるさと納税推進事業の措置や、県補助金を活用し、市内の自主防犯団体が設置する防犯カメラの経費の一部を助成するため、防犯カメラ設置費補助金などを措置するものです。この他、社会保障・税番号制度の個人番号カードの追加発行に伴う負担金の増などにより、社会保障・税番号制度事務費の増額や、県補助金を活用し、民間事業者が行う保育施設整備に要する経費の一部を補助するため、民間保育所建設事業費補助金などを増額するものです。

公共下水道事業特別会計補正の内容は、既定の継続費の総額を12億円増額し、継続費補正後の総額を33億円とし、併せて各年度の年割額を変更するものです。

各会計の補正後の予算額、既定の歳入歳出予算に対する増減額(カッコ内)は次のとおりです。

◇一般会計 82.6億5

740万6千円(4億5763万9千円増) ◇公共用地取得事業特別会計 7億1032万円(9100万円増)

### 議員提出議案

可決した議員提出議案は、暴力団追放・暴力団事務所排除の推進に関する決議および国会や関係行政庁に意見書を提出することを求める2件です。

「暴力団追放・暴力団組事務所排除の推進に関する決議」は、市民とともに、暴力団の存在を許さないという強い意志のもとに、暴力団組事務所を排除し、セーフコミュニティ認証都市として、誰もが安心して安全に暮らすことのできる社会の実現を期するものです。

「義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進捗を図り、教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の保障を求める意見書」は、教育の機会均等、水準の維持・向上などに不可欠な義務教育費国庫負担制度の存続・拡充や、行き届いた教育を実現するため、35人以下学級の着実な実施・進捗などを要望するものです(決議は4面、意見書は5面参照)。

このほか、市長から提出された一般会計補正予算の1議案に対し、質疑を行った後、採決し、可決しました。

### 補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計の1件です。歳出の主な内容は、平成28年3月期決算による法人市民税の確定申告に伴い、既に納付済みの中間納付額が確定申告額を上回る法人に対して還付するため、市税徴収事務費を増額するほか、予防接種法施行令の一部改正により、B型肝炎ワクチンが定期予防接種に追加されたため、定期予防接種事業費を増額するものです。

既定の歳入歳出予算に13億971万6千円を追加し、補正後の予算額は82.1億9976万7千円になりました。

### 会議録の閲覧を!

本会議や委員会の詳しい内容は、インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)などで会議録をご覧ください。なお、会議録ができたの間は、インターネット中継(録画放映)もご覧いただけます。

### 第3回会議を 8月4日に開催

第3回会議が8月4日



### 交差点の計画・設計の基本的な考え方は

新政あつぎ 井上 敏夫 議員



問 交差点は周辺の土地利用にも影響を与えるが、幹線道路に接続する市内の交差点は貧弱なように感じる。交差点の基本的な考えは。

答 市長 道路はネットワークとして機能する

業地域であるが、将来展望は。

答 市長 本市の中心市街地に近接しているため、今後のまちづくりの在り方について検討が必要であると認識している。

●愛名・飯山・温水地区土地区画整理促進区域

問 都市計画税を課税しているため、前向きな対応を望むが、これを活用する政策は。

答 市長 都市基盤整備が円滑に進められるよう、公共施設の整備方針を策定し、良好な市街地環境の形成に努めている。

答 まちづくり推進担当部長 厚木市の責務で道路、下水道、公園を整備する予定である。

●人生を楽しむ地域づくり

問 地域資源や健康素材がある七沢地区や、理想的な住環境が整っている森の里地区で、人生を楽しむ地域づくりを進める考えは。

答 市長 地域交流や資源を活用した健康意識の向上と健康づくりの推進に取り組む。

問 市街化調整区域の第1種住居地域および商

問 都市計画税を課税しているため、前向きな対応を望むが、これを活用する政策は。

●人生を楽しむ地域づくり

問 地域資源や健康素材がある七沢地区や、理想的な住環境が整っている森の里地区で、人生を楽しむ地域づくりを進める考えは。

答 市長 地域交流や資源を活用した健康意識の向上と健康づくりの推進に取り組む。

問 どのような議論が行われているか。

答 教育長 平成26年12月に設置し、現在、入学準備奨学金、高校等修学奨学金、学校教育活動応援奨学金の3種類の奨学金を支給している。教

問 校長からの推薦があるのでは、漏れなく支給すべきではないか。

答 教育総務部長 多くの方にとの思いはあるが、修学奨学金の趣旨から収入の部分を審査しており、10年間で、各対象枠を捉えていきたい。

問 寄付金を拡大する宣伝プランはあるか。

答 教育総務部長 広報あつぎやホームページでの周知のほか、各中学校の入学式や始業式で全生徒にチラシを配布している。

問 寄付金の状況は。

答 教育総務部長 昨

### あつぎ子どもの森公園のバリアフリーの課題は

日本共産党 栗山 香代子 議員



問 車椅子で森の空中回廊まで行くための課題は何か。

答 河川みどり部長 あずまの所まで車を入れれば、空中回廊を利用できるが、車両を入れることが自然にどう影響するのか、また園路を通っている公園利用者の安全確保をどうするか検討し、車椅子の方でも十分楽しんでもらえるような公園にしていきたい。

問 職員の訓練は。

答 総務部長 実際に厚木警察署員や消防職員

問 今後、さらさらを使った防犯訓練をそれぞれの職場で、全員が行ってみる形は考えられないか。

答 総務部長 実際には職場で行う機会として、朝礼などが使えるのではと考えている。

問 平成30年度の介護保険事業制度改定に向けての本市の対応は。

答 市長 現在、国において、制度改正の内容について検討されている。その動向を注視し、適切な次期介護保険事業計画策定に向けて取り組んでいく。

問 今までの大きく変わる点は。

答 福祉部長 国の社会保険審議会介護保険部会で検討されている中で、軽度者への支援の在り方、福祉用具の貸与および購入、住宅改修について全額自己負担の案も出ているが、慎重な対応を求めている。多く出ているが、まだ成案のようなものは出ていない。

●敬老祝品・祝金等給付事業の見直し

問 予算はどのくらい減るのか。

答 教育総務部長 入

問 車椅子で森の空中回廊まで行くための課題は何か。

答 河川みどり部長 あずまの所まで車を入れれば、空中回廊を利用できるが、車両を入れることが自然にどう影響するのか、また園路を通っている公園利用者の安全確保をどうするか検討し、車椅子の方でも十分楽しんでもらえるような公園にしていきたい。

問 職員の訓練は。

答 総務部長 実際に厚木警察署員や消防職員

問 今後、さらさらを使った防犯訓練をそれぞれの職場で、全員が行ってみる形は考えられないか。

答 総務部長 実際には職場で行う機会として、朝礼などが使えるのではと考えている。

問 平成30年度の介護保険事業制度改定に向けての本市の対応は。

答 市長 現在、国において、制度改正の内容について検討されている。その動向を注視し、適切な次期介護保険事業計画策定に向けて取り組んでいく。

問 今までの大きく変わる点は。

答 福祉部長 国の社会保険審議会介護保険部会で検討されている中で、軽度者への支援の在り方、福祉用具の貸与および購入、住宅改修について全額自己負担の案も出ているが、慎重な対応を求めている。多く出ているが、まだ成案のようなものは出ていない。

●敬老祝品・祝金等給付事業の見直し

問 予算はどのくらい減るのか。

答 教育総務部長 入



市役所窓口での犯罪に対応するため、訓練を行う職員

●公共施設における不審者対策

問 現状の対応は。



市役所窓口での犯罪に対応するため、訓練を行う職員

●敬老祝品・祝金等給付事業の見直し

問 予算はどのくらい減るのか。

●敬老祝品・祝金等給付事業の見直し

問 予算はどのくらい減るのか。

●敬老祝品・祝金等給付事業の見直し

問 予算はどのくらい減るのか。

●敬老祝品・祝金等給付事業の見直し

問 予算はどのくらい減るのか。

●敬老祝品・祝金等給付事業の見直し

問 予算はどのくらい減るのか。

### 厚木市久保奨学金基金の成果と課題は

無党派 奈良 握 議員



問 どのような議論が行われているか。

答 教育長 平成26年12月に設置し、現在、入学準備奨学金、高校等修学奨学金、学校教育活動応援奨学金の3種類の奨学金を支給している。教

問 校長からの推薦があるのでは、漏れなく支給すべきではないか。

答 教育総務部長 多くの方にとの思いはあるが、修学奨学金の趣旨から収入の部分を審査しており、10年間で、各対象枠を捉えていきたい。

問 寄付金を拡大する宣伝プランはあるか。

答 教育総務部長 広報あつぎやホームページでの周知のほか、各中学校の入学式や始業式で全生徒にチラシを配布している。

問 寄付金の状況は。

答 教育総務部長 昨

### 介護保険の制度改定に向けての対応は

日本共産党 釘丸 久子 議員



問 平成30年度の介護保険事業制度改定に向けての本市の対応は。

答 市長 現在、国において、制度改正の内容について検討されている。その動向を注視し、適切な次期介護保険事業計画策定に向けて取り組んでいく。

問 今までの大きく変わる点は。

答 福祉部長 国の社会保険審議会介護保険部会で検討されている中で、軽度者への支援の在り方、福祉用具の貸与および購入、住宅改修について全額自己負担の案も出ているが、慎重な対応を求めている。多く出ているが、まだ成案のようなものは出ていない。

●敬老祝品・祝金等給付事業の見直し

問 予算はどのくらい減るのか。

●敬老祝品・祝金等給付事業の見直し

問 予算はどのくらい減るのか。

●敬老祝品・祝金等給付事業の見直し

問 予算はどのくらい減るのか。



### 広報広聴 特別委員会から

8月17日、市内の中学1年生から3年生までの24人の生徒が参加した第2回あつぎ子ども議会（中学生議会）を開催しました。

参加した皆さまは、少し緊張した様子でしたが、子育てや福祉、環境、財政、危機管理、教育などについて、さまざまな角度から市長や幹部職員などへ堂々と質問していました。将来を担う子どもたちに市議会に関心を持ってもらうことは、議会改革の一環でもあります。また、開かれた議会を目指し、議会と市民の意見交換会を引き続き開催していきます。

9回目となる今回は、厚木市青少年健全育成会連絡協議会役員、厚木青年会議所役員のほか、市民の皆さまなど4会場で見聞交換を行う予定です。多くの皆さまのご参加を心からお待ちしています。（高橋 豊）

8月17日、市内の中学1年生から3年生までの24人の生徒が参加した第2回あつぎ子ども議会（中学生議会）を開催しました。

参加した皆さまは、少し緊張した様子でしたが、子育てや福祉、環境、財政、危機管理、教育などについて、さまざまな角度から市長や幹部職員などへ堂々と質問していました。将来を担う子どもたちに市議会に関心を持ってもらうことは、議会改革の一環でもあります。また、開かれた議会を目指し、議会と市民の意見交換会を引き続き開催していきます。

9回目となる今回は、厚木市青少年健全育成会連絡協議会役員、厚木青年会議所役員のほか、市民の皆さまなど4会場で見聞交換を行う予定です。多くの皆さまのご参加を心からお待ちしています。（高橋 豊）

#### 第5回会議（12月定例会議）の予定

- 本会議（原則9時から）
  - 11月29日（火）… 議案等質疑
  - 12月5日（月）～7日（水）… 一般質問
  - 12月21日（水）… 委員長報告・討論・採決
- 常任委員会（原則9時から）
  - 総務企画常任委員会…12月9日（金）
  - 市民福祉常任委員会…12月12日（月）
  - 環境教育常任委員会…12月13日（火）
  - 都市経済常任委員会…12月14日（水）
- ◆特別委員会（本会議などの終了後）
  - 厚木市立病院特別委員会…12月21日（水）
  - 広報広聴特別委員会…12月21日（水）

※傍聴は、本庁舎5階ロビーで受け付けます。



### ニュージージランドのホストタウンに 向けた交流の成果は

あつぎみらい 神子 雅人議員

問 友好都市を念頭に  
入れているか。

答 市長 東京オリ  
ピック・パラリンピック  
後も相手国との交流が継  
続し、友好の輪の広がり  
が期待されており、友好  
都市締結につながる可能

性もあると認識している。  
問 ニュージージランド  
訪問の感触は。  
答 霜島副市長 直接  
会話することで、好印象  
を得ることができた。女  
子ラグビーのセブンスは、  
今年度に厚木市訪問の話

### 発達障がい者の支援に向けた サポートカードの作成は

公明党 寺岡 まゆみ議員



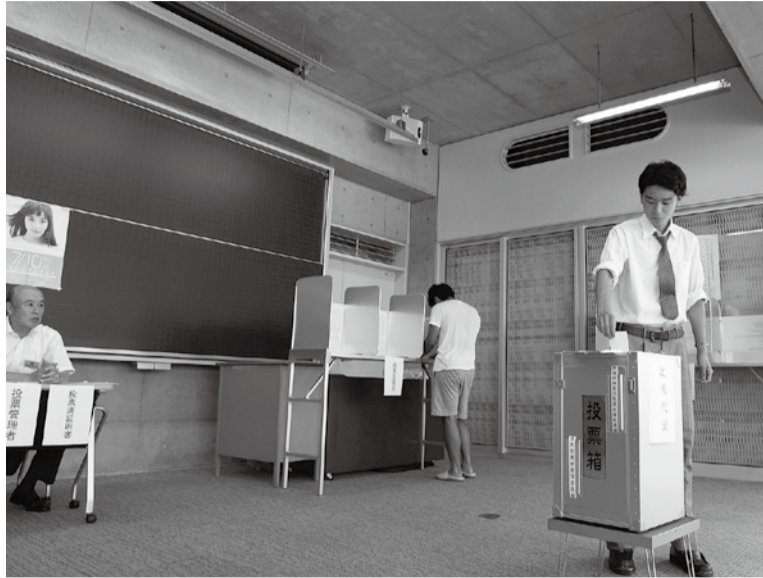
問 発達障がい者の日  
常生活を支えるため、  
個々の特性や知っておい  
てほしいことなどを書き  
込んで提示し、周囲に理  
解と協力を得る、サポー  
トカードを作成しては。  
答 市長 コミュニ  
ケーションの手段として  
有効と考えており、作成  
に向け検討している。

### 介護予防・日常生活支 援総合事業

問 森の里地区のモデ

答 選挙管理委員会事  
務局長 高齢化が進んで  
いる中では出向くことも  
重要であるため、前向き  
に検討していきたい。

●選挙における出張移動  
投票所  
問 団地や自治会館、  
集会所などへ出張する方  
法や、ワゴン車などで巡  
回し、車中で期日前投票  
を行う出張移動投票所を  
実施する自治体も見られ  
るが、本市の考えは。



選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、若年層の投票率を向上させようと、初めて  
神奈川工科大学に期日前投票所が設置された（第24回参議院議員通常選挙）

をいただいた。

### ●都市農業の振興

問 厚木市農業振興地  
域整備計画の現状は。  
答 鳥井理事 農業

振興地域の整備に関する  
法律に基づき、見直しを  
行っている。来年度は、  
水稲、園芸作物、花卉、  
果樹などの作目別振興施  
策を統合し、本市全体の  
農業の将来像を見据えた  
形で農業振興施策を策定

ル事業は住民主体による  
サービスということだが、  
これを来年度から全市的  
にスタートできるのか。  
答 福祉部長 来年度

以降、他の地域でも実施  
可能かどうかという視点  
を持ちながらサービス基  
準を検討していきたい。

市内一斉ではなく、でき  
るところ、必要などところ  
から始めていく姿勢であ  
る。

していきたいと考えている。

### ●厚木市民朝市の2千回 記念

問 年度版携帯型のカ  
レンダー作成や広報など  
での出店者の紹介は。  
答 環境農政部長 現

在、来場者に対するサー  
ビスとして年末に毎年A  
4版より少し大きめのも  
のを作成し、配布してい  
る。作成に当たっては、  
厚木市民朝市推進委員会

### 児童虐待対策の現状と 今後の対応は

改革あつぎ 高田 浩議員



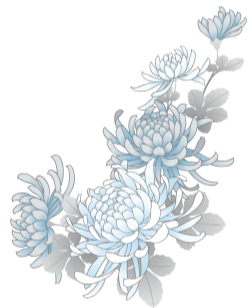
問 児童虐待を誰にも  
相談できず、市役所に電  
話してきた市民の立場  
に立った場合、まずどう  
してほしいと思うか。  
答 こども未来部長

その方が何を望むかをま  
ずは丁寧に聞き、対応す  
ることが一番大切ではな  
いかと考えている。

問 市民からの虐待案  
件の電話はSOSである。  
一度でも電話があれば、  
すぐに訪問することが大  
切であるため、機動力、  
一歩外に出るといふ姿勢  
の転換を提案する。現場  
に行かないと分からない  
ことがたくさんあるため、  
実動部隊が必要ではない  
か。見解は。

答 こども未来部長  
来てほしい、話したいと  
いう方にはすぐに対応し  
ているが、まだ今は会い  
たくないなど、さまざま  
であるため、ケースごと

の総会などの決定を受け、  
出店者組合と相談させて  
いただいている。ホーム  
ページには全店舗を掲載  
しているが、より見やす  
く更新していきたい。



に考えていきたい。また、  
関連部署ともいろいろな  
方面から連携、連絡して  
対応している。

問 児童虐待について、  
年次報告書を厚木市ホー  
ムページで公表すること  
を提案する。相談件数と  
訪問件数、相談内容区分  
などを掲載することによ  
り、第三者の目線が入る  
ことを職員に意識しても  
らう、また、虐待防止へ  
の市民意識の向上といふ  
二つの効果が期待でき  
る、いかがか。

答 こども未来部長  
公表により、市民の関心  
が高まり、虐待防止への  
理解が進むことが期待で  
きるため検討したい。

### 本厚木駅南口の再開発に 伴う地元業者への配慮は

改革あつぎ 井上 武議員



問 本厚木駅南口地区  
市街地再開発組合の事業  
ではあるが、公共的な事  
業要素もあり、なるべく  
市内業者が発注してほし  
いと思う。どのような配  
慮がなされているか。  
答 市街地整備部長

駅前広場は市内業者との  
共同企業体の募集を想定  
し、再開発ビルについて  
も市内業者への下請け発  
注に十分配慮して工事を  
進めていただきたい旨、  
組合と調整を進めている。  
●厚木北公民館の建て替え  
問 地域から要望書が  
提出されたと伺っている

が、検討状況と今後の方  
向性は。  
答 教育長 本年6月  
に厚木北公民館建設促進  
委員会から、建物の老朽  
化や駐車場の不足などを  
理由に建て替えの要望書  
が提出され、7月20日付  
で、要望内容を踏まえ取  
り組む旨の回答をした。  
今後も地域の皆さまのご  
意見をいただきながら、  
早期整備に取り組みたい。

### 一般質問

主な質問  
と答弁



を移せないか、重ねてお  
願ひしてきた。郷土資料  
館の移設に関してはどう  
いう状況か。  
答 社会教育部長 下

川入地区への移転整備に  
向け、建物の実施設計や  
展示設計に取り組んでい  
る。来年度から建設工事  
に取り組み、平成30年度  
中の完成を目指している  
状況である。

## 暴力団追放・暴力団組 事務所排除の推進に関 する決議

## 決議

暴力団は、集団的・常習的な暴力的不法行為などを背景に、社会経済活動に深く食い込み、あらゆる手口を用いて資金を得る活動を行うなど、市民生活に影響を与えている。

本年2月27日厚木市妻田東で起きた暴力団の対立抗争によるとみられる、建物にトラックが突っ込んだ建造物損壊事件は市民の間に大きな衝撃を与えた。

厚木市民、特に暴力団組事務所の周辺住民は、犯罪行為や抗争事件によって、いつ危害を加えられるかわからない不安に脅かされ、平穏で平和に暮らす権利が侵害されている。

こうした中、同事件は平成15年に横浜地裁小田原支部が出した同建物を組事務所として使わせない仮決定に違反したとして、周辺住民が間接強制を申し立て、本年8月東京高裁はこれを全面的に認めるなど、市民がみずから立ち上がり暴力団追放の機運が高まっている。

よって、厚木市議会は、市民とともに、暴力団の存在を許さないという強い意志のもとに、暴力団組事務所を排除し、セーフコミュニティ認証都市として、誰もが安心して安全に暮らすことのできる社会の実現を期するものである。

以上決議する。

平成28年10月5日

厚木市議会



### 子ども食堂を多世代の居場所 づくりへ展開する考えは

公明党 遠藤 浩一 議員



問 高齢者が子ども食

堂で食事をすれば、子ど

もは高齢者に学び、高年齢者にも元気をもらうことができる。食を中心に、多世代の市民が笑顔になるみんなのための食堂への展開こそ目指してほしい居場所づくりであると思うが、考えは。

答 こども未来部長

今後は、食堂を必要とする多世代の方を対象にした食堂として実施される形態も研究したい。

答 市民協働推進部長

実施については、一人住まいの高齢者など、弱者の方も参加できる幅広い募集を図る団体にお願

### 市内公共交通インフラの 改善の成果と課題は

新政あつぎ 高橋 知己 議員



問 水引近辺における

交通流改善の成果は。

答 市長 交通シミュ

レーションをコンピュータ上でを行い、その検証結果を元に昨年10月、信号機の調整を神奈川警察本部が実施した結果、水引交差点を通過する路線バスの所要時間が短縮するなどの改善効果があった。今後も交差点改良などのハード整備と合わせ、ソフト的な交通流改善策についても引き続き

### 「あつぎ元気プラン」第3期 実施計画の進捗状況は

新政あつぎ 石井 芳隆 議員



問 1年半が経過した

が進捗状況は。

答 市長 平成27年度の施策評価をしているところだが、平均達成率は90%を超え、順調に進捗している。

問 次の第10次総合計画へどのようにつなげていくか。

答 政策部長 現行の

の派遣は拡充を予測しており、日本語指導教室も手厚く、支援の場となるよう努める。厚木市だけで立ち行かないところは、国、神奈川県に具体的な支援を要望することも視野に入れ、検討していく。

総合計画の計画期間である32年度までに終わらない継続的な事業は、事業スケジューリングを明確にし、次の総合計画に反映させていく。

問 どのようなコンセプトか。

答 教育長 厚木市の文化や自然に親しみ、郷土への愛着と誇りを育む拠点施設と位置付けており、特に展示室や体験学習室、収蔵庫の機能を充実することにより、市民

の皆さまはもとより、市外からも多くの方々にご来館いただけるよう計画しており、30年度内の完成を目指している。

問 隣接する中央青年の家跡地自然園の管理は。

答 社会教育部長 開館以降は一元管理をしていく。

●関口・山際地区土地利用検討ゾーン  
問 先行地区から残されている南側区域はどう考えているのか。

答 まちづくり推進担当部長 農地保全地区もあり、具体的な動きがない。今後、情報提供を含めた形で意見交換の場を設けたい。

### ホームページの 議会情報

厚木市議会では、より開かれた議会を目指し情報発信に努めており、ホームページで次の情報をご覧いただけます。

- ◆インターネット議会中継  
本会議・常任委員会・特別委員会などの生中継と録画中継
- ◆会議録(本会議・常任委員会など)委員会の会議録を掲載するまでの間、委員長報告を掲載しています。
- ◆市議会だより
- ◆その他  
議員名簿、議会データ、一般質問通告一覧、子どものページ、議長交際費など。



### 公共施設などの 危機管理体制は

あつぎみらい 渡辺 貞雄 議員



問 知的障害者福祉施設的事件を検証し、本市が学ぶ体制づくりとは。

答 市長 公共施設における事故防止マニュアルを作成し、周知を図るとともに機会を捉えて実地訓練などを実施している。また、警備員などに

よる巡視のほか、防犯カメラの増設など監視体制の強化を図り、職員への必要措置を講じていくことが大切と考えている。

問 病院、学校、保育園などの警備体制の現状と課題は何か。

答 市長 厚木市立病院では、警備員などによる巡視、安全点検のほか防犯カメラでの監視などの機械警備をあわせて実施している。小・中学校では、登下校時間以外には、校門を閉め、防犯カメラの映像を職員室で確認できる状況である。保育所

### 可決した 意見書

市民生活に重要なことでも、それが国や県の仕事である場合など、市の力で解決できないことがあります。このような場合、市議会では、地方自治法第99条に

基づき、意見書を国会または関係行政庁に提出し、議会としての意思を表明します。9月定例会議で可決した意見書は次の1件です。

### 義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の 着実な実施・進行を図り、教育の機会均等と水準の維持・ 向上並びに行き届いた教育の保障を求める意見書

義務教育費国庫負担制度は、現行義務教育制度の重要な根幹をなしており、義務教育諸学校等に勤務する教員・学校事務職員・学校栄養職員の給与費等を国庫負担対象にすることを定めてきた。この制度を縮小・廃止することは、地方財政を圧迫するとともに、全国的な教育水準の確保・教育の機会均等の原理を阻害することになりかねない。

また、授業時数や指導内容が増加する中で、障害のある子供や日本語指導を必要とする子供への対応、いじめや不登校等、諸課題・諸問題の解決に向けて35人以下学級の着実な実施・進行は極めて重要な施策である。

よって、国においては、次の事項について実現されるよう強く要望する。

- 1 教育の機会均等、水準の維持・向上、無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続・拡充させること。また、学校事務職員・学校栄養職員をその対象から外さないこと。さらに、義務教育教科書無償制度を継続すること。
  - 2 行き届いた教育を実現するために、学級編制標準の見直しや教職員の定数改善、35人以下学級の着実な実施・進行など、教育環境を整備するための予算を確保・拡充すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年10月5日

提出先=衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

答 市長 厚木市立病院では、警備員などによる巡視、安全点検のほか防犯カメラでの監視などの機械警備をあわせて実施している。小・中学校では、登下校時間以外には、校門を閉め、防犯カメラの映像を職員室で確認できる状況である。保育所

では、高さのあるフェンスやオートロック式の門扉などにより不審者の侵入を防止するとともに、来訪者をカメラ付きインターホンで確認するなど安全対策に努めている。

問 指定管理者制度のデメリットや情報共有の現状と課題は。

答 市長 各施設において、安全管理マニュアルを作成し、定期的に市と連絡調整を行い情報共有を図り、安心安全な施設管理を推進していく。

答 市長 厚木市立病院では、警備員などによる巡視、安全点検のほか防犯カメラでの監視などの機械警備をあわせて実施している。小・中学校では、登下校時間以外には、校門を閉め、防犯カメラの映像を職員室で確認できる状況である。保育所

では、高さのあるフェンスやオートロック式の門扉などにより不審者の侵入を防止するとともに、来訪者をカメラ付きインターホンで確認するなど安全対策に努めている。

問 指定管理者制度のデメリットや情報共有の現状と課題は。

答 市長 各施設において、安全管理マニュアルを作成し、定期的に市と連絡調整を行い情報共有を図り、安心安全な施設管理を推進していく。





### 地域との連携による子ども育成は

新政あつぎ 新井 啓司 議員



問 子ども会活動の現状と課題は。

答 子ども未来部長

23小学校区ごとの加入率については、一番低い地区は3・1%、高い地区は88%であり、平均28・6%で、地域の事情が影響して大きな差が生じていると考えている。主な要因としては、一つ目に子どもの学校以外の時間の過ごし方がだいぶ変化して、子ども会活動に参加できない。また、二つ目に、共働き世帯の増加などで、休日に地域の行事に時間が取れないことや役員になる負担感もあるという声を聞いている。

問 児童館の利用状況と課題は。

答 子ども未来部長

平成27年度実績で、市内37カ所の年間利用者の総数は、およそ37万人であり、大変にぎわっている。



子どもたちの健康増進と情操教育を目的に、児童がいつでも誰でも利用できる健全な遊び場として設置されている児童館（写真は戸室児童館）

### ●児童虐待防止対策の取り組み

問 改正児童福祉法の施行に向けての課題は。

答 子ども未来部長

今後の課題として、建築後30年以上経過する施設が全体の54%の20館とされており、建て替えや統廃合など、設置されている場所を含め総合的に検討する必要があると考えている。

### 地域から出される悪臭の苦情への対応は

新政あつぎ 松田 則康 議員



問 近年、事業者が出す悪臭が近隣住民から不衛生であると数多く寄せられているが、対応は。

答 環境農政部長

年、悪臭防止法に基づき時期を捉えて臭気測定を行っている。また、職員が現地に確認に行き、事業主の方に改善してもらえないか話をしていく。法律に基づく指導監督はもとより、事業者の協力を引き出すように努め、原因の解消に取り組んでいきたい。

### ●ごみ収集の民間委託・戸別収集の拡大

問 民間委託の検討は進んでいるか。

答 市長

民間委託については収集業務の効率化とともに、災害時の対応なども含め、総合的に検討を進めている。

問 戸別収集の現状と今後、拡大の考えは。

答 まちづくり計画部長

管理者であるUR都市機構から、当エリアの7棟240戸について、移転補償を含めさまざまな説明、調整を進めて、平成30年度内には移転を完了し、建物除却と土地の売却、または賃貸の意向が示されている。

問 鷹尾団地のこれから地域コミュニティを維持するための方策は。

答 まちづくり計画部長

人口が増えていくにつれて、今後、管理者と連携をとっていききたい。

### 議会運営の在り方など 議長の諮問に答申

議会運営委員会

平成27年11月20日に越智一久議長が諮問した「議会の在り方に関する検討について」に対し、7月20日付で議

第232号の訂正  
8月1日発行の市議会だより(第232号)の一般質問の記事の中で、6面の寺岡まゆみ議員の5歳児健診の質問に対する答弁者は「市民健康部長」でしたが、「福祉部長」と掲載してしまいました。おわびして訂正いたします。

### 答申書

【検討事項】 議会の在り方に関する検討について

【検討結果】 それぞれの項目については、次のとおりとする。

- 1 市議会議員選挙の時期について(市長選挙と同時執行できないか) これまでも、十分に時間をかけて検討・協議を行ってきたが、市議会議員選挙の時期は、現状のままとする。ただし、情勢の変化等により市議会議員選挙の時期について、再考することはない。
- 2 議会の評価について 厚木市議会基本条例に沿って、議会内部での評価を行い、その後、外部評価を行う方向性とする。なお、手法等具体的な事項については、調査・研究を進めながら、引き続き協議することとする。
- 3 議会のICT化の推進(タブレット端末の導入)について 市議会運営の迅速化や効率化を図るため、タブレット端末を導入する方向性とするが、仕様やルール等の詳細については、作業部会等を設け、十分な調査・研究を進めながら、より具体的に協議を進めることとする。
- 4 議員間討議の活性化について 厚木市議会基本条例第20条第2項において、委員会における議案等の審査の際、必要に応じて委員相互間の自由討議を行う機会を設ける旨の規定があることから、実施する方向性の意見が大勢であった。実施に向けては、具体的な事項については、調査・研究を進めながら、引き続き協議することとする。
- 5 市議会モニター制度について 議会の評価を行い、その結果に基づき導入の必要性があると判断された場合に、再度、検討することとする。

### 郊外の団地および空き店舗の現状と課題は

新政あつぎ 松本 樹影 議員



問 郊外団地に対する認識は。

答 市長

同時期に同年代の方々が一斉に入居したため、居住者の高齢化、核家族化や少子化など世帯構成が大きく変化している。これからも本市が

魅力あるまちであり続けるため、未来を担う若い世代の定住促進と、市外への転出抑制に向けた取り組みを推進していく。

問 鷹尾三丁目3街区北エリアの除却、解体に向けた進捗状況の把握は。

答 まちづくり計画部長

管理者であるUR都市機構から、当エリアの7棟240戸について、移転補償を含めさまざまな説明、調整を進めて、平成30年度内には移転を完了し、建物除却と土地の売却、または賃貸の意向が示されている。

鷹尾団地のこれから地域コミュニティを維持するための方策は。



### 議会用語解説

#### ■付託

本会議の議決を要する事件について、詳しい検討を加えるため、所管の常任委員会などに審査を委託すること。

#### ■請願・陳情の採択、趣旨採択

請願・陳情の内容について、願意が妥当で法令上、行財政上実現性もあるような場合には、議会として賛同することになり、議会の意思決定は、請願・陳情を採択する方法によりなされることとなります。また、願意は十分に理解できても、市の財政事情などから、当分の間は願意を実現することが不可能である場合などに、便宜的に「趣旨には賛成である」という意味の議決をすることがあり、その趣旨のみを取り上げることから、これを趣旨採択と呼んでいます。



# 委員会の審査

## 条例・補正予算など

### —主な質疑と答弁—

条例の改正や補正予算などの議案について、常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

### 総務企画

○厚木市火災予防条例の一部を改正する条例について  
問 公表の対象になる建物とは。また、総数と該当する建物の軒数は。  
答 消防法令別表による特定防火対象物で、不特定多数の方が集まる集会場や遊技場、飲食店などである。

問 建築指導との関わりが大きい。建築指導課との調整や役割分担は。  
答 消防署が立ち入り検査をし、明らかに建築基準法違反で建築設備に不備がある場合、再度建築指導課と立ち入り検査をし、指導している。

○工事請負契約の締結について  
問 入札業者は厚木市内の業者ではないようだが、これは特殊工事市内の業者ではできなかったのか。  
答 この工事は鋼構造物工事で、鉄などの鋼材

は寄付額の4割程度に引き上げる。さらなるさと納税専用サイトからクレジット払いができるようにしたのが主な変更点である。  
問 防犯カメラ設置補助金について、設置場所と効果は。  
答 王子地区に設置する。効果は、犯罪の抑止力を高めることが主目的である。

### 市民福祉

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 和室は廃止されるのか。  
答 グループ指導保育室として整備を行い、貸館の和室は廃止されるので、今後はあつぎ市民交流プラザの和室を利用していたいただきたい。

問 児童発達支援センターの変更内容は。  
答 4階フロアの整備において、保育室を3室から6室に増設し、定員を20人から40人に拡充するとともに、親子通園や親子分離通園を可能とする。また、通園回数も週2回程度から日々通園を可能とする。さらに新たな事業として、障がい児相談支援事業や保育所等訪問支援事業を実施するため、2階南のフロアに事務室と相談室を新設する。

○厚木市病院事業の設置等に関する条例及び厚木市立病院の診療費等に関する条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 和室は廃止されるのか。  
答 グループ指導保育室として整備を行い、貸館の和室は廃止されるので、今後はあつぎ市民交流プラザの和室を利用していたいただきたい。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

○厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について  
問 今回の診療費などの改正で収入の影響は。  
答 平成27年度までの病床の稼働率から算定すると、1カ月当たり300万円程度の増収を見込んでいる。

○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 もみじ保育所と厚木保育所との民営化の進め方の違いは。  
答 もみじ保育所は既存の施設を引き継ぐ形であったが、厚木保育所は移転を伴う民営化のため、応募資格や審査基準を若干見直した。応募資格は社会福祉法人以外の全法人を対象として、審査項目としては、施設の内容、定員、3歳未満児の割合、防音・防臭対策、駐車場の確保などの見直しを行ってきた。

## 病院特別委員会

9月定例会議終了後、厚木市立病院特別委員会が開かれ、執行機関から、厚木市立病院の整備状況などについて説明がありました。説明後の委員の主な質疑と執行機関の答弁を紹介します。

問 診療参加型臨床実習について協定を締結したが、これまでの研修との違いは。  
答 診療参加型臨床実習の通常の対象は、国家試験に合格された研修医であり、診療行為の制限がなかった。今回は医学生の5・6年生が対象で、診療チームに参加して診療業務を分担して、医師としての職業的な知識・思考法、技能・態度などの基本的なことを、より実践的に臨床能力を身に付けることを目的としている。

問 医学生が診療チームに参加することだが、医療行為はできないのでは。  
答 医療行為については、一般社団法人全国医学部長病院長会議で医学生の臨床実習の際の医療行為について、基準を示している。指導医の指導監視の下で実施されるものの2つに大きく分かれている。基本的に臨床実習に参加するに当たり、一定の知識や技能を取得していなければならない。知識や技能、態度などの全国共用試験に合格し、さらに4年生時の後期に見学型臨床実習前に必要な単位を取得する必要がある。

問 交通量については、正確に把握できていないが、1日当たり数十台程度の往来があることを現地で確認している。  
○平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)  
【所管科目】  
問 補正の経緯は。また、まだ商店会の半分以上はLED化されていないが、今後の対応は。  
答 今回補正で対応する厚木みなみ商工クラブの街路灯30基については、商店会内での意見の取りまとめなどが当初予算の時期に間に合わなかったためである。現在、市内15商店会で789基の街路灯があり、そのうち4商店会、318基の街路灯がLED化され、LED化率は40・3%となっている。引き続き電気料削減の効果をPRし、なるべく早く情報を得るようにしていきたい。

## 環境教育

○平成28年度厚木市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)  
問 補正の内容は。  
答 本厚木駅周辺の厚木排水区は、平成25年4月のゲリラ豪雨により、駅周辺が冠水する被害を受けており、26年度に既存ストックを活用した浸水対策を検討する基本設計委託を行ったが、27年度にあさひ公園内に設置

する貯留施設の実施設計と並行して行った土質調査の結果、基本設計時の調査結果と相違があり、事業費の増大が判明したものである。  
問 今回採用するニューマチックケーソン工法は、安価で工期が短縮できるとのことだが、12億円の増額との整合性は。  
答 土質状態が悪いことから、しっかりとした仮設が必要なことや、深いところまで基礎が必要なことなどから、基本設計で採用した開削工法のプレキャスト構造でも32億5千万円の事業費になると算出している。ニューマチックケーソン工法は、施工に際して騒音・振動が少なく、周辺地盤の緩みが少ないなど利点が多いため、総合的に検討・判断をした結果、33億円

○市道路線の廃止及び認定について(議案第73号)  
問 三田小学校の東側の角に新たな通用口が設置されたが、登下校の利用人数や登下校時の交通量は把握しているか。  
答 現在、市道D1490を通じて通学している児童は約100人である。

## 都市経済

○市道路線の廃止及び認定について(議案第73号)  
問 三田小学校の東側の角に新たな通用口が設置されたが、登下校の利用人数や登下校時の交通量は把握しているか。  
答 現在、市道D1490を通じて通学している児童は約100人である。

○市道路線の廃止及び認定について(議案第73号)  
問 三田小学校の東側の角に新たな通用口が設置されたが、登下校の利用人数や登下校時の交通量は把握しているか。  
答 現在、市道D1490を通じて通学している児童は約100人である。

○市道路線の廃止及び認定について(議案第73号)  
問 三田小学校の東側の角に新たな通用口が設置されたが、登下校の利用人数や登下校時の交通量は把握しているか。  
答 現在、市道D1490を通じて通学している児童は約100人である。

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県古賀市)

◆広報広聴特別委員会  
10月25・26日、市民意見交換会について(岐阜県高山市)

## 委員会

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。  
このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

◆議会運営委員会  
10月11・12日、議会改革の取り組みについて(福岡県



# 平成27年度 決算の認定

平成27年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算および病院事業会計決算は、定例会議初日に各常任委員会に分割付託され、所管科目について、慎重な審査を行った結果、全会計とも認定すべきものと決しました。最終日の各委員長報告の要旨や報告に盛り込まれた要望事項などを紹介します。

審査に当たっては、決算書および関係書類を基に、行政効果や財源の確保、予算執行の状況などについて、活発な質疑が行われました。

## 委員長報告の概要

平成27年度は、「あつぎの元気きらめき予算」の下、7つの重点項目を中心に積極的に事業の実施に取り組みました。

歳入面では、企業業績が好調であったことに加え、収納対策の強化に取り組みることから、市税収入は増加しております。また、基金の債権運用や国庫補助金の確保を行うなど、積極的に財源確保を図られました。歳出面では、前年度に引き続き、特別職の給与削減や職員給与の独自引き下げの実施、職員数の抑制を始めとした経常的経費の削減などに職員の総力をもって取り組まれましたが、少子高齢化の急速な進展に伴う社会保障費の増大や、公共施設の維持補修の経費など、さまざまな面で多くの財政需要が見込まれるものと考えます。

このため、中・長期の視点から財源確保などへ取り組み、事業の重要性や有効性などを十分検証し、最少の経費で最大の効果を挙げることができるよう、的確に施策が展開されることを望むものであります（各委員長報告の要旨をまとめたものです）。

## 要望事項

各常任委員会での審査の結果、最終日に各常任委員長から、次のとおり要望事項が報告され、今年度および来年度以降の行財政運営に反映させ、対応されることが期待されました。

### 総務企画

- 1 財産を有効・適正に使用するほか、経常的経費の削減及び事業の優先順位を検討し、効率的な財源の活用を図り、公共建築物の維持、整備に取り組まれない。
- 2 職員が懇切丁寧な市民サービスを行うために、研修を充実するとともに、職員の健康管理、メンタルヘルスを重視されたい。
- 3 災害や交通事故等の

### 市民福祉

- 1 超高齢社会が進み、社会保障に関する経費が増大しているが、公平・平等な配分に努め、市民サービスの低下を招かぬよう、子育て・健康長寿・医療・福祉等を推進するに当たり、きめ細やかな事業の運営と向上を図るとともに、補助金については、定期的に評価、検討し交付されたい。
- 2 厳しい財政状況の中で、今後も民生費は増加傾向にあり、国・県補助金の財源確保に取り組まれない。
- 3 将来の厚木市を見据えた住みよい、暮らしやすいまちづくりを進めるために、市民一人一人が、十分な行政サービスを受けられるよう、正規職員を中心とした人員配置と職場環境づくりの徹底に努められたい。

### 環境教育

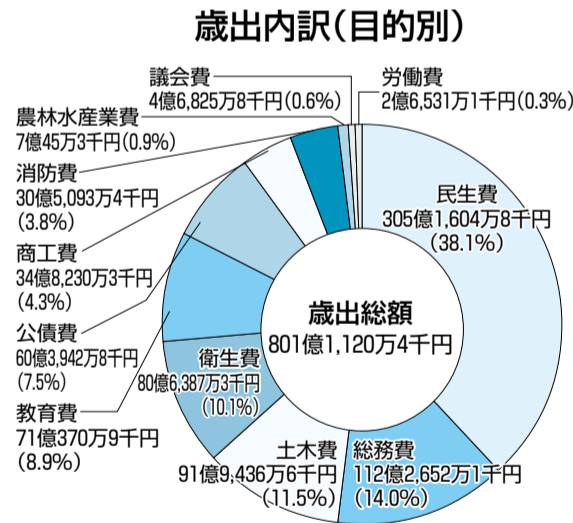
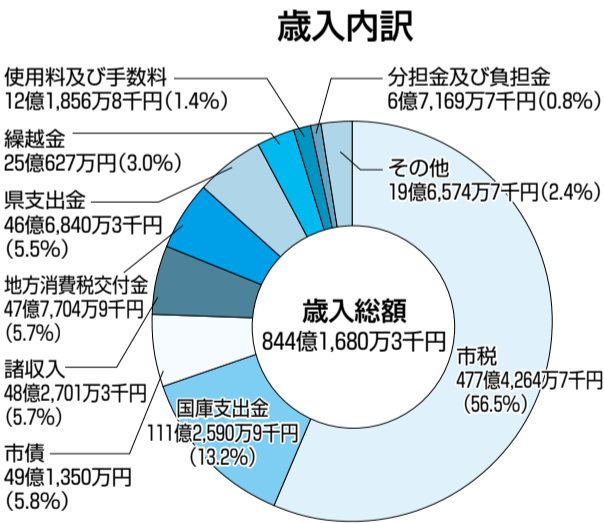
- 1 複数の部課等が類似目的で推進している事業があることを踏まえ、総体的視点から統合や縮小、削減も含め検討し、重複がないよう調整され、目的別効果が十分に発揮できるように見極め、予算編成に臨まれたい。
- 2 特別支援教育推進事業の拡充や学校教育情報化推進計画の策定成果を踏まえ、積極的な教育環境の整備に取り組みれるとともに、依然として子供の貧困が顕在化する状況を踏まえ、全ての子供が等しく教育を受けられるよう取り組まれたい。

### 都市経済

- 1 各事業を実施するに当たっては、市民の立場に立ち、その目標と事業の優先度を立て、取り組まれるとともに、補助金・交付金については、費用対効果、事業内容等を精査して、公平性のある交付に取り組まれたい。
- 2 まちづくりにおいて、セーフティコミュニティは、セーフティコミュニティ認証都市にふさわしい、安心・安全・バリアフリーに配慮した、より良いまちづくりに努められたい。
- 3 地元要望等を精査し、迅速な処理を行うため、先進事例の調査・研究をされるとともに、技術系人材の確保・育成を図られたい。

## 平成27年度決算の内容

### 一般会計決算



### 市民1人当りに使われた金額

355,934円

※一般会計歳出総額80,111,203,543円を平成28年4月1日現在の人口225,073人で割ったもの

#### 【主な使い道(目的別)の内訳】

- ◆民生費…135,583円 (社会福祉費、児童福祉費、生活保護費など)
- ◆総務費…49,879円 (総務管理費、企画文化費、徴税費など)
- ◆土木費…40,851円 (都市計画費、道路橋りょう費、土木管理費など)
- ◆衛生費…35,828円 (清掃費、保健衛生費)
- ◆教育費…31,562円 (小・中学校費、社会教育費、教育総務費など)
- ◆公債費…26,833円 (借入金返済)
- ◆商工費…15,472円 (商工費)
- ◆その他…19,926円

### 会計別決算

会計名	予算現額	収入済額	支出済額	収支差引額	翌年度繰越財源額	翌年度繰越又は繰上充用額
一般会計	84,559,250,701	84,416,803,397	80,111,203,543	4,305,599,854	531,379,678	3,774,220,176
特別会計	公共用地取得事業	375,259,000	375,256,614	375,256,614	0	0
	後期高齢者医療事業	2,209,926,000	2,206,299,719	2,188,072,011	18,227,708	0
	国民健康保険事業	28,976,913,000	29,062,005,737	28,581,325,973	480,679,764	0
	介護保険事業	12,163,611,000	11,707,216,818	11,441,115,675	266,101,143	0
	公共下水道事業	5,923,149,000	5,807,434,422	5,585,807,792	221,626,630	40,000,000
小計	49,648,858,000	49,158,213,310	48,171,578,065	986,635,245	40,000,000	946,635,245
合計	134,208,108,701	133,575,016,707	128,282,781,608	5,292,235,099	571,379,678	4,720,855,421

【参考】平成26年度一般会計決算額 歳入総額77,217,129,238円、歳出総額74,710,858,975円

### ○ 病院事業会計決算 (単位：円)

企業会計のため、一事業年度の経営活動に伴い発生する「収益的収支」と、将来の経営活動に備えて行う施設整備などに伴い発生する「資本的収支」に分かれています。

◆収益的収支 ※平成27年度純損失1,295,003,862円

収入総額	8,737,143,747	支出総額	10,029,331,226
(8,725,306,684)		(9,826,144,525)	
医業収益	8,230,770,161	医業費用	9,822,048,099
医業外収益	506,373,586	医業外費用	190,039,104
		特別損失	17,244,023

( ) 内は、消費税および地方消費税抜き金額

◆資本的収支

収入総額	2,620,318,000	支出総額	1,773,758,686
負担金	114,326,000	建設改良費	1,525,487,323
企業債	1,378,200,000	企業債償還金	228,650,898
出資金	100,000,000	投資	19,620,465
貸付返還金	2,460,000		
寄付金	1,150,000		
基金繰入金	24,182,000		
他会計借入金	1,000,000,000		



常任委員・議会運営委員・特別委員一覧【平成28年8月4日現在】

※( )は会派<<正式名称は10面参照>>。無会派は会派に所属していない議員

Table with 5 columns: 総務企画 (7人), 市民福祉 (7人), 環境教育 (7人), 都市経済 (7人), 議会運営 (9人). Includes 厚木市立病院 (9人) and 広報広聴 (9人) committees.

会派名(表記)と所属議員一覧

○は代表者【平成28年11月1日現在】

Table with 3 columns: 会派名(所属議員数), 会派表記, 所属議員氏名(住所、電話番号). Lists members for あつぎみらい, 新政あつぎ, 公明党, 日本共産党, 改革あつぎ, 民進党, 無会派.

※平成28年10月18日付で名切議員から住所変更届が提出され、住所が変わりました。

市議会選出の各種委員会委員など

【平成28年11月1日現在】

- List of committee members including 監査委員, 厚木愛甲環境施設組合議会議員, 公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団評議員, etc.

第9回 議会報告会

議会と市民の意見交換会を開催

【日時・会場】

11月18日(金) 19時~20時30分 荻野運動公園 会議室

11月19日(土) 18時~19時30分 あつぎ市民交流プラザ ミュージックルーム2 (アミューあつぎ7階)

【内容】

- ◆ 議会報告・意見交換 など

※申し込みは不要です。当日、直接会場へお越しください。※なるべく公共交通機関を利用し、来場ください。

議会運営の在り方など 具体的な検討が始まる

— 議会の在り方検討会を設置 —

越智一久議長は、8月30日に議会運営委員会に対し、議会運営の在り方など、下記の5項目を諮問しました。

【諮問事項】

- 議会の評価について
○議員問討議の活性化について
○子ども議会について
○専決事項の再検討について(法人市民税の還付について)
○公務の範囲について(議会報告会を公務とすることについて)



# 本会議の審議結果

第3回会議提出案件		各会派の賛否 ○…賛成、●…反対、△…除斥、―…欠席							議決結果	
		みらい	新政	公明党	共産党	改革	民進党	無会派A		無会派B
議案第44号	平成28年度厚木市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	-	○	可決

◎平成28年8月4日議決時の会派構成など ※議長…越智一久(議長は採決に加わりません)、副議長…名切文梨

※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員(―は代表者)

みらい…あつぎみらい(9): 袖子雅人、高橋豊、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、松本樹影、難波達哉、越智一久、沼田幸一、松田則康 新政…新政あつぎ(6): 石井芳隆、高橋知己、田口孝男、新川勉、新井啓司、井上敏夫 公明党…公明党(5): 川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山崎由枝、田上祥子 共産党…日本共産党厚木市議員団(2): 釘久久子、栗山香代子 改革…改革あつぎ(2): 高田造、井上武 民進党…民進党(2): 望月真実、名切文梨 無会派A…無会派(1): 奈良握(欠席) 無会派B…無会派(1): 山本智子

第4回会議(9月定例会議)提出案件		各会派の賛否 ○…賛成、●…反対、△…除斥、―…欠席							議決結果	
		みらい	新政	公明党	共産党	改革	民進党	無会派A		無会派B
議案第45・46号	教育委員会委員の任命について(2件)	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第47~59号	農業委員会委員の任命について(13件)	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第60号	平成27年度厚木市一般会計歳入歳出決算について	○	○	○	●	○	○	○	○	認定
議案第61号	平成27年度厚木市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第62号	平成27年度厚木市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について	○	○	○	●	○	○	○	○	認定
議案第63号	平成27年度厚木市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	○	○	○	●	○	○	○	○	認定
議案第64号	平成27年度厚木市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について	○	○	○	●	○	○	○	○	認定
議案第65号	平成27年度厚木市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第66号	平成27年度厚木市病院事業会計決算について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第67号	厚木市立総合福祉センター条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第68号	厚木市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第69号	厚木市病院事業の設置等に関する条例及び厚木市立病院の診療費等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第70号	厚木市火災予防条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第71号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第72~74号	市道路線の廃止及び認定について(3件)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第75・76号	市道路線の認定について(2件)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第77号	平成28年度厚木市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
議案第78号	平成28年度厚木市公共用地取得事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第79号	平成28年度厚木市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第80号	監査委員の選任について	○	○	△	○	○	○	○	○	同意
請願第2号	日米地位協定の抜本的改定を求める意見書を国に提出することを求める請願	●	●	●	○	○	○	○	○	不採択
陳情第9号	心身障害者医療費助成を精神障害者保健福祉手帳2級に拡大適用することを求める陳情	○	○	○	●	○	○	○	○	趣旨採択
陳情第10号	義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行を図り、教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の保障を求める意見書を国に提出することを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第11号	暴力団追放・暴力団組事務所排除の推進に関する決議を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第12号	平成29年度における「重度障害者医療費助成制度」継続についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第13号	介護保険制度の次期改正に向けての意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	●	○	○	○	○	○	不採択
議員提出議案第5号	暴力団追放・暴力団組事務所排除の推進に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第6号	義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行を図り、教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の保障を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

◎「議案第80号 監査委員の選任について」は、本人の監査委員選任議案のため、地方自治法第117条の規定により石井芳隆議員(新政あつぎ)を除斥し、採決が行われました。

◎平成28年10月5日議決時の会派構成など ※議長…越智一久(議長は採決に加わりません)、副議長…名切文梨

※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員(―は代表者)

みらい…あつぎみらい(9): 袖子雅人、高橋豊、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、松本樹影、難波達哉、越智一久、沼田幸一、松田則康 新政…新政あつぎ(6): 石井芳隆(議案第80号除斥) 高橋知己、田口孝男、新川勉、新井啓司、井上敏夫 公明党…公明党(5): 川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山崎由枝、田上祥子 共産党…日本共産党厚木市議員団(2): 釘久久子、栗山香代子 改革…改革あつぎ(2): 高田造、井上武(欠席) 民進党…民進党(2): 望月真実、名切文梨(議案第77号反対、請願第2号賛成) 無会派A…無会派(1): 奈良握 無会派B…無会派(1): 山本智子

**第2回**

**あつぎ**

**子ども議会**

中学生議会を開催

8月17日、第2回あつぎ子ども議会(中学生議会)を厚木市議場で開催しました。市内の中学生24人が子ども議員となり、日ごろから関心のある事項について、質問しました。

左側通路手前から越智議長、名切副議長、曾田教育長、右側通路手前から小林市長、霜島副市長、松本副市長

**主な質問と答弁**

**問** 市の防災対策は。 **答** 市長 都心南部直下地震の避難想定人数2万6080人に1日3食提供した場合でも、4日分の食糧を備蓄していますが、各家庭でも7日分の備蓄をお願いします。

**問** 市の商業の今後について、どのようにお考えか。 **答** 市長 今年度中に市民の皆さまの意見を聞きながら、(仮称)商業まちづくり計画を策定し、市の商業振興の方向性を明確に

するとともに、商業の活性化を図っていきます。従来の学習に加え、タブレット端末を導入する可能性は。 **答** 教育長 タブレット端末は、多様な学習をするための一つのツールとして、有効に活用できるものと考えています。現在、授業でのタブレット端末の活用について、研究を行うなど、より効果的な方法で多様な学習ができるよう、環境整備を進めています。